

日本全国※通話圏内のIPトランシーバー。 安心のデュアルSIMモデル。

※各携帯電話回線の電波到達範囲が通話エリアとなります。

IP502H
(ブラック)



IP502H
(シルバー)

IP502Hの主な特長

■デュアルSIMだからさらに安心

NTTドコモの3G/LTE回線、もしくはauの4G LTE回線*1を使うことで、日本全国*2が通話圏内。従来のトランシーバーのように、通話距離の制約や不感地帯を気にせず、タイムリーな情報伝達を実現します。また、デュアルSIMに対応し、本体操作でキャリアを切り替えて使用できます。キャリアの冗長化により、交通機関やインフラ業、警備業などの業種においてもさらに安心して使える高度な信頼性を実現しました。

*1 当社提供のSIMカードを選択することで、いずれかの回線が使用できます。 *2 各携帯電話回線の電波到達範囲が通話エリアとなります。

■同時通話・多重通話に対応

多くのトランシーバーは、相手の話し終わりを待ってから交互に通話しなければならないため、通話に大きなタイムラグが生じます。IP502Hのシステムは、同時通話に対応。携帯電話と同じように、お互いが同時に話せるので、自然なやりとりが可能。また、多人数による多重通話もサポートしており、電話会議のような使い方にも対応できるほか、他のスタッフ同士の会話に重要な連絡を割り込んで伝えることもできます。

■業界最小クラスのコンパクトサイズ

約59(W)×95(H)×32(D)mm*と、IPトランシーバー端末として最小クラスのコンパクトさを実現。業務の機動性を損ないません。

*BP-272装着時、突起物除く。

■防塵・防水IP67*

屋外や水にぬれやすい環境でも気にせず使える最高水準の防塵・防水性能IP67*を備えています。

*試験用粉塵を1mあたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出し、無線機として機能すること。また、バッテリーパックを正しく装着した状態で水深1mの常温の水道水に静かに沈め、30分間放置したのちに取り出し、無線機として機能すること。

■車載運用にも対応

車載運用に適したクレードルなどのオプションをラインナップ。車外に出るときはIP502Hを持ち出してハンディ型端末として、車内では車載端末として1台で2通りの運用ができます。また、IP502HとクレードルはBluetooth*で接続*できますので、クレードルにIP502Hを装着していなくても、クレードルに接続したスピーカーマイクで通話可能です。

*当社Bluetooth*対応製品以外とのBluetooth*接続は検証していません。

■多彩な機能拡張

IP502Hの通信システムに、別売のIP無線ゲートウェイIP500G*やRoIPゲートウェイVE-PG4を組み込むことで、GPSデータの表示や従来の無線機/IP電話網(RoIP網)との連携など、さらに多彩な機能を実現できます。

*IP500Gは、au 4G LTE網にのみ通信可能。

■その他の機能

●騒音に負けない900mW(内部スピーカー時)の大音量出力。●全体通話のほか、個別通話・グループ通話に対応。●本体のみで同時通話を可能にするエコーキャンセラー機能搭載。●着信を振動で伝えるバイブレーション機能。●プリセットの文字情報を送信。●本体が一定以上傾いた状態が続くと緊急通報を発信するマンダウン機能搭載。●緊急速報の受信に対応。

操作資格
免許不要

端末位置情報を利用した各種サービス(オプション)に対応

オンプレミス型

別売りのIP無線ゲートウェイIP500G※1を導入することで、パソコン上に端末のリアルタイムな位置情報を表示させることができます※2。

※1 IP500Gは、au 4G LTE網にのみ通信可能。他にIP501M、IP500M、VE-PG4でも表示可能。
 ※2 別途、対応地図ソフトが必要。昭文社スーパーマップル・デジタル(15以降)全国版に対応(2019年9月現在)。

ランニングコスト不要 インターネット接続不要

(地図使用承認©昭文社第61G319号)

Webブラウザ型

IP無線動態管理サービスをご契約いただくことで、IPトランシーバー端末の位置情報はもとより、渋滞情報や天気情報などさまざまな情報を統合し、スマートフォンやタブレット上のブラウザ(https://icom.navi.time.biz/)に表示させることも可能です。ブラウザ上で表示できるので、関係者だけではなく、公開情報としての扱ひも可能です。

WEBブラウザ表示 各種情報連携

(交通情報:VICS/JARTIC 地図:©ゼンリン)

■ 対応アクセサリ

- ・バッテリーパック
 - BP-272: リチウムイオンバッテリーパック 7.4V、1880mAh (min.)、2000mAh (typ.)
 - BP-273A: 乾電池ケース (単 3 型アルカリ乾電池 3 本使用)
- ・充電器
 - BC-202IP2: 急速充電器 (AC アダプター付属、充電しながら運用可能)
 - BC-202IP3L: 急速充電器 (AC アダプター別売、充電しながら運用可能、最大6台まで連結可能)
 - BC-211P: 6 連急速充電器 (AC アダプター付属)
 - BC-123S: AC アダプター (BC-202IP3L 単体充電時に使用、ストレートプラグが必要)
 - BC-228: AC アダプター (BC-202IP3L を複数台連結して充電時に使用)
- ・マイクスピーカー&イヤホンマイク
 - HM-183LS: 防水形小型スピーカーマイクロホン (同時通話対応)
 - HM-186LS: 小型スピーカーマイクロホン (同時通話対応)
 - HM-153LS: イヤホンマイクロホン (同時通話対応)
 - HM-166LS: 小型イヤホンマイクロホン (同時通話対応)
 - VS-3: Bluetooth® ヘッドセット (同時通話対応)
 - HS-102: ヘッドセット (同時通話対応、OPC-2359 と組み合わせて使用)
 - OPC-2359: 通話スイッチ内蔵型接続ケーブル (電子ロック式)

- ・車載キット
 - BC-218: Bluetooth® 対応充電器
 - HM-215: BC-218 専用スピーカーマイクロホン (同時通話対応)
 - MBA-7: マウントブラケット
 - MBF-1: マウントベース
 - CP-22: シガレットライターケーブル (BC-218 用、12V/24V 対応)
 - BC-216S: AC アダプター (BC-218 用)
 - ・ケース
 - LC-185: ハードケース (BP-272 装着時用)
 - ・拡張機器
 - IP500G: LTE ゲートウェイ
 - VE-PG4: RoIP ゲートウェイ
 - VE-SP1: スピーカーフォンユニット
- その他のオプションは、アイコムHPをご参照ください。



■ IP502Hの主な定格

無線通信仕様	NTTドコモの3G/LTE、auの4G LTE
電源	定格7.4V (BP-272)
寸法	約59(W)×95(H)×32(D)mm (BP-272装着時、突起物除く)
重量	約240g (BP-272、アンテナ装着時)
使用温度範囲	-10℃~+60℃
音声出力	900mW以上(内部スピーカー 8Ω、10%歪率時) 200mW以上(外部スピーカー 8Ω、10%歪率時)

連続運用時間の目安	BP-272使用時 約17時間*(送信:受信:待受=5:5:90時)
防塵・防水性能	IP67/55/54 (バッテリーパック、アンテナ装着時)
Bluetooth® 規格	Ver 2.1+EDR
付属品	リチウムイオンバッテリーパック (BP-272) ベルトクリップ (MB-135)、ハンドストラップ など
通話互換	当社製IPトランシーバー (IP500H、IP501H、IP501M、IP700など)

(※ 運用の状況によって変わります。)

アイコム株式会社 国内営業部 〒135-0042 東京都江東区木場2丁目17-16 5F TEL 03-6240-3549 高品質がテーマです。

製品の技術的なお問い合わせ

アイコムサポートセンター (平日9:00~17:00) フリーダイヤル ☎:0120-156-313
 携帯電話・PHS・公衆電話からは:06-6792-4949

その他のお問い合わせは最寄りの営業所までご連絡ください。
 最寄りの営業所はホームページでご確認ください。 www.icom.co.jp

Radio Communication Solutions
 株式会社 ジャパンエニックス
 JAPAN ENIX CO.,LTD.

□ 本社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351
 □ 関西支店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700
 □ 札幌営業所 □ 名古屋営業所
 □ 仙台営業所 □ 九州営業所

<https://www.jenix.co.jp/> 営業所住所はこちら ▶

注意 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

● 定格・仕様・外観等は改良のために予告なく変更することがあります。 ● 製品の色は印刷の関係上、実際のものとは多少違うことがあります。 ● 携帯電話回線状況(混雑)などにより、音声の遅延や途切れ、不連が発生することがあります。 ● イヤホン使用時は、音量には十分ご注意ください。 ● 安全運転のため、無線機を身体に付けた状態で運転しないでください。 ● Bluetooth® のトレードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。 ● アイコム株式会社、アイコム、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。